

4 自由記載

4 自由記載

問9 自由記載において、保健・福祉サービスや介護保険制度などの高齢者施策全般のほか、今回の調査や札幌市の施策について寄せられたご意見（502件）のうち一部を抜粋の上、掲載している。

なお、プライバシーに関する記述、特定個人や団体に対する好意的意見・批判・中傷等は、その記載の一部を割愛し、また、明らかな誤字・判断しにくい文字・文章については、表現を修正している場合がある。

4. 1 「64歳以下」の自由記載

4. 1. 1 保健・福祉サービス

高齢者ばかりでなく、すべての世代に平等の福祉サービスを実施してほしい。高齢者でもゆとりのある人々は福祉を受けれる範囲をせまくしたり、少しの工夫で、もっとより多くの人々にサービスを受けれるようにできると思います。

（男性、満45～49歳、中央区）

心配なのは母が近い将来、認知症等になった場合まず何をしたらいいのかわからないので不安です。病院が嫌いな人なので、何度も検査に行っても頼んでも怒り出してしまうので、全く前に進めません。こうゆう相談をして、協力してもらえようサービスも知らないの、どうしていいのかわからないままです。福祉サービス等の幅広い充実が必要なんだと思います。

（女性、満45～49歳、白石区）

4. 1. 2 介護保険制度

介護職員の人材不足の原因は業務に対して賃金が低いことと、働きにくい職場環境の悪さが原因と考えられる。したがってそれらの改善が急務である。

（女性、満40～44歳、東区）

介護制度などを文書にて、通知してほしいです。50才すぎた時がいいと思います。将来（高齢者）に付いて、本人が家族が知人が考えると方向性をきめるので役に立つと思い、早目に通知・お知らせ下さい。

（男性、満60～64歳、手稲区）

認知症対策・・・在宅介護には限界がある。公的機関の増は必須。今後年金受給年令が上がる。支給額も下がる。普通に生活できる事が困難になる。どこまで、国・自治体が施策を打てるか、市長、知事、議員の質が問われると思う。

（男性、満50～54歳、西区）

特養の増設を切に望みます。グループホームの経費は異常にかかるのを理解不足に思う。空き待ちをしている家族は困り果ているのです。

（男性、満40～44歳、白石区）

介護や支援をうけなければならない、弱い立場の人が安心して過ごせる施設や福祉従事者を充実させて欲しいです。そして必要となる金銭面も、国や道、市等行政でしっかり保障できる予算を考えて欲しいです。また福祉施設に携る人たちの給与（介護者、保育士等）を一般産業と同等にして下さい。でなければ、人手不足は解消されないと思います。

（女性、満 40～44 歳、白石区）

高齢者を対象としたサービスの充実が必要なことは理解しますが、自分たちの世代はともかく、子供たちへの負担が重くのしかかるようなことは避けてほしいです。

（男性、満 40～44 歳、中央区）

健康寿命を伸ばすためには食事と運動が重要だと感じています。介護認定を受ける前や支援程度の高齢者を対象にして低価格で定期的に認知症予防と運動がセットでできる場所が（カーブスのように 30 分～1 時間程度）身近にあると嬉しいです。高齢者特に家族が少なかったり、一人暮らしでは作った料理が残る事が多く残り物の料理の工夫、食材の応用、コンビニの商品に何かプラスしたりする料理教室、食事指導が定期的にあると良いと感じています。

（女性、満 60～64 歳、西区）

4. 1. 3 医療

若年性アルツハイマーで入院中です。（主人）代理で記入しました。精神科の病院は、医療費が高いので、保険料負担を安くして欲しいです。

（男性、満 60～64 歳、豊平区）

保健施設の不足（保健所）病院も地域に根ざした保健活動を行うべき。その為の支援を行政が行うべきである（指導を含む）医療施設が行うことで、サービスの充実を図る。

（男性、満 55～59 歳、手稲区）

4. 1. 4 高齢者の社会参加・生きがづくり

定年になった時まだ仕事ができるので仕事があるのかが心配です。定年になった時どうか仕事があるかその時はお願いいたします。

（男性、満 60～64 歳、中央区）

高齢者交通事故が多い為、免許返納を促す為、公共交通機関、タクシー等の割引券、優待券等を拡充する事で交通事故を無くす取組が必要。

高齢者介護を減らす為、高齢者本人が外部の人達と触れ合事で、自分の存在価値、生きがいを見つけ出し、メンタル強化する事で介護、認知症防止策を出来る環境づくりが必要だと思います。

（男性、満 45～49 歳、清田区）

4. 1. 5 高齢者のすみよいまちづくり

保険、福祉への取り組みについての希望ですが

1 高齢者の免許返納者に対しての公共機関利用優遇の充実を警察と連携希望。

2 空室となっている市営住宅を活用し高齢者に貸し出し高齢者住宅とし市及び区、民生委員、消防局（消防団）、警察等で連携し巡回や訪問等の回数を増やし速やかに対応できる地域の作成も良いのではないのでしょうか。（男性、満45～49歳、東区）

これから高齢者が多くなるので、よりよい介護や施設を増やしてほしい。※順番まちをしないでも、すぐに入れる高齢者施設を作してほしい（女性、満40～44歳、北区）

4. 1. 6 市の施策や行政の対応等

高齢者の資産も含めた保健・福祉に関する負担の在り方、リバースモーゲージなどの活用もとり入れるべき。高齢者は経済的弱者、社会的弱者という時代ではない。優遇され過ぎていて、若年者とのバランスを欠いている。高齢者よりも子どもの医療、教育に財源を回すべき。（男性、満50～54歳、北区）

今現在、介護・福祉に縁がなくあまり知らない。必要に応じて、調べられるよう情報のありかがわかると良いと思っている（HPのわかりやすさ、調べやすさ）（女性、満45～49歳、豊平区）

サービス事業やセンターに目を向けたり利用できている高齢者の割合は少ないように思います。サービスの利用を出来ない該当しない層の高齢者の方々の現状を把握して生きた支援をしていただけたらと思います。（女性、満45～49歳、南区）

札幌市で受けられるサービスの内容がまったくわからないので広報などでしらせていただくとありがたいと思います。（女性、満50～54歳、東区）

税金の無駄使いをやめれば現状の控除税率でも、今以上の保健、福祉サービス等が出来ると思います。まずは、国・道・市町村の無駄をなくしてほしい。（男性、満40～44歳、西区）

高齢者にやさしい社会になって欲しいです。今まで、一生懸命働いてまた高齢者が、今現在も苦しい生活をしているのを見えています。医療費0円など、安心してらせる社会になって欲しいです。（女性、満40～44歳、北区）

4. 1. 7 年金について

国民年金のみの収入で生活できない老人がたくさんいるので不安（特にお金）のない老後が送れるようにしてもらいたい。
(女性、満 55～59 歳、厚別区)

国民年金の最低金額は低くすぎます。私は 21 才から 40 年払って 25 年払った人と同じなのが納得出来ません。多く払った人は加算され、増やすべきです。でも 65000 円では 1 ヶ月生活出来ません。保健のお金、介護サービスのお金を取られたら食べていけません。どうすれば良いのですか、お金のない人間は病院に行く事もできません。このアンケートが私の生活に役立つ日がくるとは思えません。もっと低辺の生活の人間を助ける街作りをして下さい。

(女性、満 55～59 歳、南区)

4. 1. 8 その他

若い世代と高齢世代が自然にふれ合ったり、会話出来るけして義務ではなく 1 つになれる弱い者が若い力によって救われるそういう時代があたりまえのように必要なのだと思う

(男性、満 50～54 歳、清田区)

- ・生活保護の保護費を減らして、高齢者施策の費用に回すべきである。

(男性、満 55～59 歳、北区)

高齢者の車の事故が増えています。免許証を返上しても、困らない制度が充実していないと危険です。その為に若い人の命がおびやかされるのはおかしいです。

(女性、満 45～49 歳、東区)

4. 2 「65 歳以上」の自由記載

4. 2. 1 保健・福祉サービス

敬老優待乗車証の事ですが、現在の金額では、半年位しか持ちません。以前の様に全て無料にするか、もう少し金額を増やす、又夫婦で利用の場合一方の余った分も使用可能にしてください。

(女性、満 70～74 歳、南区)

71才に成り福祉の充実を感じる事が度々あります。若い頃は感じなかったのですが、ありがたい札幌市とっております。なる丈迷惑を掛けずに終焉を向かえたいものです。宜しくお願い致します。

(女性、満 70～74 歳、中央区)

今、現在は老夫婦共に介護を必要としないので、何が介護に必要なかが具体的にわかっていない部分が多いけど、近い将来世話になると思うので保健、福祉サービスや介護、高齢者対策を十分に充実させてほしいと願います。

(女性、満 70～74 歳、東区)

1. 保健・福祉サービス等について困ったとき行政の窓口で相談すると対応が速く助かっています。

(女性、満 75～79 歳、豊平区)

私は60才で主人に先立たてました。遺族年金と自身の国民年金で、生計を立てています。このたびの臨時福祉給付金は特別ボーナスをいただいたような気持ちでとてもうれしく思っています。ありがとうございました。

(女性、満 65～69 歳、西区)

特に弱者に関しては、手厚い相談と気の長い聞きとりを行い、当人に何が一番良い事か伝え実行できる様手助けして、どんな形であり自立していると感じられる環境を育てて下さい。

(男性、満 70～74 歳、白石区)

保健、福祉施策についての事でこれ程のサービスがあるとは知りませんでした。知るすべを知りたいです。

(女性、満 75～79 歳、中央区)

これから超高齢時代に突入するのが目に見えている現状で、先々考えると不安です。自分達が本当に介護制度を利用したい時に今ある制度が消えていると思うとぞっとします何とかボランティアの力を借りてお金のかからない福祉サービスの充実を願います。

(女性、満 65～69 歳、白石区)

福祉、除雪について現在公営住宅に入居している場合個人で利用が出来ないので体力的に無理な場合でも自分で除雪をしなければなりません。公営住宅に入居していても利用できるようにはならないのでしょうか。冬がくるたびなやみの種です。

(女性、満 70～74 歳、手稲区)

私は以前民生委員をしておりました。その時に感じた事を少し書かせていただきます。例えばお掃除のサービスについて、あの短い時間でサラッとしかも「うわべ」だけの掃除のようにしか私には見えませんでした。その人が悪いと言うのではなく、そのような制度が悪い、問題があるようにしか思われませんでした。どこまで人にやさしい福祉なのか疑問です。皆様全員がもし自分の親だったら、又身内の人だったらと思い心のある福祉サービスにつとめていただきたいと思います。

(女性、満 65～69 歳、南区)

・福祉、介護施設のPR

(男性、満 65～69 歳、手稲区)

少ない年金生活です。公共交通を利用して、街に出て用事、買物等をしています。敬老優待乗車証を購入していますが、追加分まで入れると、大きな負担になります。1年間、1万円以内で、定額制になると少しは楽になると思います。「高齢者を対象とした保健、福祉サービス」の一覧表ですが、所在地、TEL、内容など、具体的に書かれて、保存版として配布出来ませんか。どこに行けば良いのか、サッパリ分かりません。

(女性、満 70～74 歳、南区)

福祉サービスの担当者がまだ1回も自宅訪問がありません。今後不安です。私は一人なので。

(男性、満 65～69 歳、厚別区)

市の保健、福祉サービスは沢山あるようですが、果して1人ぐらしに実際になってしまった時にどのように利用出来るのかが分かりません。ぼくぜんとした不安がよぎる近況です。

(女性、満 70～74 歳、西区)

色々な福祉サービスなどやっているようですが宣伝が足りないのでは。又、見やすい様にカラー化、字を大きくしてほしい。

(女性、満 65～69 歳、東区)

国がすべて自己責任で処理することを建前に政策を行っているため、市の保健福祉に対する予算が極めて不足である。そのため、福祉施策(高齢者に対する)が不充分であって、すべてを個人にまかせているような気がする。憲法に保障されている建前を見失い、資本家、大企業の補充に力をつくしているので呆して市が考えているような保健、福祉、高令者に対する施策の充実が極めて困難ではないかと思う

(男性、満 90 歳以上、白石区)

札幌市に住んでいる高令者世帯の聞き取調査をして、見過ごさないようにしてほしい。独居老人、老々介護など声を上げることの出来ない人々に目を向けた福祉をしてほしい。

(無回答、満 65～69 歳、東区)

・交通費助成について 70才以上(?)から交通機関のパスが支給されると聞いていますが、タクシーを利用する場合は助成がないのでしょうか。親が、90才をこえていた時、タクシーを利用することが多かったため、せめて3割でも、安く利用できればよかったですと思いました。

・除雪について 現在間口の福祉除雪は、1人暮らしの場合あるようですが、そもそも排雪するところがないような大雪になった時、排雪をしてもらえないものか…札幌は、大都市にもかかわらず除排雪(生活道路の)は、遅れていると思う。個人の排雪サービスに頼るのではなく、行政の仕事と思う。道路の排雪をしっかりしてもらえば、高令者も冬住みやすい街になると思います…パートナーシップの一回だけでは、歩道に積み上げた車道の雪で山になっています。(うちは、排雪サービスを頼んでいません)

(女性、満65~69歳、厚別区)

生活をして行く上で、安い物を安いお店へ買物に行く事は健康にも繋がると思う。もう少し家にこもらず元気生活出来るためには敬老パスを拡大してほしい。老人がもう少し広く集まったり楽しめる場所を多くしてほしい

(女性、満70~74歳、手稲区)

現在移動支援を利用させてもらってとても助かっております。今後も利用させていただきたいと思います。ありがとうございます。よろしく願い申し上げます。

(女性、満65~69歳、厚別区)

高齢者になった今、娘夫婦と同居していますが、常に気になること、私がいづれ家族の手に応えなくなった時のことや、家族、色々な福祉サービス、支援を受けても在宅では無理な時が来た時には、すみやかに老人施設に入所出来るよう老人施設(入所施設)を増やして(充実)ほしい。高齢者仲間と語り合う話題は上記のことです。

(女性、満75~79歳、豊平区)

・ひとり暮らしの高齢者等の巡回相談事業をもっともっと、力を入れて考えて欲しい。でもいつもご苦労さまです。私達も甘えずがんばります。

(女性、満80~84歳、豊平区)

特にありませんが、現状維持のままで、よろしいかと存じますが、如何でしょう。今後とも高齢者サービスにつきまして、宜しく願い申し上げます。

(男性、満80~84歳、南区)

道都札幌市に居住し、敬老優待施設等に感謝しつつ日常を送っています。札幌市の益々の発展を祈念しています。

(男性、満85~89歳、厚別区)

高齢者の公共地下鉄、バス、電車について(無料)

1. 我家に90才以上の年寄が二人いますが、足が不自由で車で(病院、買物等)移動しています。公共乗車券は送られて来ても使いません。今は車の時代です。体の不自由な人達の為に、タクシーチケット、ガソリン代に切替えてほしいと思います。(体の不自由な人達とは)ショウガイ認定されていない人達。

(男性、満65~69歳、北区)

希望する施設等に皆が利用できる様にして下さい。11/19土の新聞に敬老パス事業をみなおすのっていましたが、元気に出かける為（数おおく）もあまりさくげんしてほしくないです。

（女性、満65～69歳、東区）

4. 2. 2 介護保険制度

介護保険制度などで、お世話になっております。ありがとうございます。今後共よろしくお願い致します。

夫は、27年12月迄5年間位特養ホームでお世話になってました。要介護1で、3年、4、5で2年でしたから大変でした。お部屋が無く、ショートステイからですので、年金が減らされないうちは、何とかやってましたが、転倒回数も多くなると入院の回数も多く、支出も多く、年金でホーム代を支払うと私の生活費は、僅かな貯えでつないでました次は、自分ですが、遺族年金になり、税金MSその他で支出があり、大変ですが、年金がありますので感謝しながら、頑張ってます。85才、今のところ、自分の事は、自分でやりますので子供から感謝されてます。

（女性、満85～89歳、中央区）

・介護保険は夫婦共、一度も利用しておりません。そういう人の為に何かちょっとしたごほうびがあっても良いのではと思います。10年なにも利用しなければ1ヶ月分無料等、敬パス無料、インフルエンザ無料等

（女性、満80～84歳、中央区）

初めて、夫の痴呆でとまどって居ます。ケアをうける程では無いと思っておりますが、どう利用したら良いのか分からない。

（女性、満65～69歳、中央区）

介護を要する時は施設、医療など必要に応じた対応を強く要望いたします。

（男性、満80～84歳、厚別区）

現在まで見聞きして思ってたこと、自分で動けなくなった場合（認知症などの場合はなお更のこと）特養ホームに入るのが一番安心であり、他の人にも迷惑をかけない—勿論自宅介護を希む人もいますとは思いますが、それでなければ不適な人もいます—現在の政策は逆行して思っています。私の母方の祖父母は特養ホームでお世話になり非常に良かった。

（男性、満70～74歳、清田区）

介護保険については、区に聞かなければ分からないのでなく、寝たきりにならない為に予防も含めて、介護保険の有効な使い方をお知らせ願いたい。

（男性、満70～74歳、中央区）

・介護保険料を安くしてほしい（年金が少ないため） （男性、満75～79歳、南区）

- ・国保保険料金の引下げ
- ・介護保険料金の引下げ
- ・福祉サービス・介護サービス等を充実させるためサービス項目を増すとお金が増加するこの負担を税で補うのではなく市職員等の給与削減等で補ってはどうか？

(男性、満 65～69 歳、北区)

介護施設の施設充実をお願いしたいです。子供達への負担が一番、不安な事です。親子でも大変だと思ひ、他人様の方が気持が楽です。自分の体が動かなくなったら施設でお世話になりたいです。

(女性、満 65～69 歳、手稲区)

現在、老々介護で一人の方の保護が行き届いている様に思ひます。老夫婦二人で暮らして行く者には、不均等ではないかと思われますが、如何なかと？考へて下さい。

(男性、満 80～84 歳、清田区)

・介護保険の認定する基準が高い。もう少し認定基準を下げてほしい。
・介護保険料が高い。年金生活で保険料を支払いしなければならないので、安くしてほしい。

(女性、満 65～69 歳、豊平区)

高齢者が多くなるにつけ、介護システムが細かに考へられていると思ひます。高齢者は、あまり複雑だと理解出来ない事もあるので、区、ケアマネージャー等のその人に合った対応をお願い致します。日々本当にご苦勞様です。

(女性、満 65～69 歳、手稲区)

健康保険、介護保険の金額が今年時に比べて高額と考へる。高い負担でサービスの利益を維持することに問題があるのではないかと。

(男性、満 70～74 歳、中央区)

私、今主人の介護しております。月 20 万はかかります。色々かかります(その他おむつ別です)市から申し又相談したら、安くなるのでしょうか？主人(要 2 です)

(女性、満 65～69 歳、西区)

本当に必要としている人のための福祉を行なってほしい。無駄な介護保険を使っていないのか精査してほしい。

(女性、満 90 歳以上、厚別区)

主人は年金も無く仕事の収入もないのに、介護保険料を支払わなければなりません。妻の収入で生活している中では無収入の人には介護保険料等は支払わなくてもいいように、健康保険料等は妻の収入から支払っています。

(女性、満 65～69 歳、清田区)

配偶者と二人での生活ではとくにありませんが、細かいことにはなりますが、またわたし個人のことではありませんが配偶者の年間収入(28年度では409,700)に対し、保険料(55,911)はなんとなく「高い」ような気がしております。高くないと言われればそれまでですが…

(男性、満 85～89 歳、東区)

収入に対して介護保険料が高いのでなかなか介護が必要になっても使えないと思ひます。なるべくギリギリまで自分達でやろうとします。自己負担が別途かかるのは大変な事だと感じます。いずれどんなにがんばっても頼る時が来るかも…長生はしたくないですね。あまり迷惑はかけたくありません。寿命が来たとしても薬等でむりに延命させられるのは、一番つらい事だと感じます。

(女性、満 65～69 歳、白石区)

介護保険サービスの不担金を3割にしているがそれでは死ぬと云うのと同じことだと思ってもっと老人を大事にしてほしい。(男性、満80～84歳、手稲区)

介護保険料を払っている者としては介護サービスの内容を見直して、本当に必要な人に必要なサービスをしてほしい。介護保険料の使われ方、年度毎の決算をもっと公にしてほしい。若い人の為にも公表してほしい。

(女性、満65～69歳、北区)

・特別養護老人ホームの増加。・94才の母親(要介護4、別居)有り。施設に入れない状況。(男性、満65～69歳、西区)

老人介護保険料を合計したらものすごい金額になると思うが、適正に使われているとはいえない。少し体が不自由で送迎付でおやつ食やお風呂付きで安価に過ごせる人がいる一方で少し元気な為そこに加われない人達います。もっと公平にならないものかと。

(女性、満75～79歳、北区)

私は68才高齢者です。今の所健康で誰にも頼らず生活しています。義母とか叔母が障害を持ち老人健康施設でお世話になりました。その当時は6ヵ月たつと次の身のふり方、行く所を捜さなくてはならず大変でした。安心して世話して頂けるような施設制度があると良いと思います。(特別養護老人ホーム以外です)

(女性、満65～69歳、中央区)

4. 2. 3 医療

私は73才になりますが、健保はほんの少し介保はまだ使用して居りません。近所で良く話題になるのが医療費、介護費等ですが本人が負担しているのは、1割から3割位と思われます。残りの9割から7割は他人の力を借りる事になります。もう少し感謝の気持ちを以って、余命、恨いなく何事も一生懸命です。(男性、満70～74歳、北区)

- ・病院代にお金がかかりすぎ 年20万
 - ・兄弟、姉妹が多いので、交際費がかかる 結婚、そう式等
 - ・娘の障害年金が少ない。
 - ・介護保険の取りすぎ
- (男性、満75～79歳、東区)

医療費の1/10負担はとても助かります。(女性、満80～84歳、南区)

近くに総合病院があるとうれしい。区役所へ行くのに自家用車が利用出来なくなった場合不便です。いろいろな窓口があってもなかなか利用できません。

(女性、満70～74歳、清田区)

4. 2. 4 高齢者の社会参加・生きがいづくり

厚生年金が少ない為、食生活のみの市民が多い。収入が月平均不足して貯金は無い。サービスは見直しを。高齢者の生活向上の為、仕事があれば生涯現役で働きたい。適材適所の大型プロジェクトをして高齢者における一大産業都市の構築。

(無回答、無回答、無回答)

高齢者に福祉サービスは必要ですが、年齢にこだわらず元気な人には短い時間で良いので年寄りでも必要とする所が有るので働いてもらう事、元気な人は沢山いますので自分ではなかなか仕事をみつけられませんので、シルバー人材センターなど利用するなど。

(女性、満70～74歳、中央区)

健康な老人づくりの為に要望します。

- イ) 市の施設を高齢者(65才以上)に無料開放
- ロ) 施設内容などを徹底周知
- ハ) 敬老優待乗車証の無料化

(男性、満75～79歳、中央区)

高齢者が気軽に集える場所がたくさんあると良いと思う。先のことは不安に思うが自分の力ではなかなかできない。

(女性、満65～69歳、中央区)

4. 2. 5 高齢者のすみよいまちづくり

これからも雪道になり高齢者の歩きやすい道に除雪等に市は心くばりして頂きたいとします。道などには市はいきとどいていない様に思います。気くばりがほしいです。

(男性、満70～74歳、清田区)

年間支給される福祉給付金等大変ありがたく思っております。これからも老人にやさしい街作りをよろしくお願いします。

(女性、満65～69歳、西区)

全部の問に解答出来ず申し分けありません。現在のところ主人も私も医者にかかっている、食後に飲まなければならぬ薬もありませんので健康で生活できていることに感謝いたしています。冬になると寒くなり夏よりは歩くことも少なくなります…敬老乗車証も、いただき感謝しながらバス、と地下鉄を利用して、地下歩行空間を歩く様にするといいのだなあと思っています。

(女性、満75～79歳、豊平区)

1人暮らしの生活が不安である。子供も週2日来てくれるが日々の生活、夜が心配です。もっと高齢者が行くことが出来る場所が多くあれば良いと思う。町内では、老人会があるが、行きづらいし、自宅からは遠くて、行けない。1度行ったが、最初の内はとても良く会話して頂いたが1～2時間たつと皆様なかの良い人々と話さず、少しさみしい気持ちになった。もっとちがう高齢者の集まれるような所があればいいのではないかと思います。

(女性、満80～84歳、豊平区)

4. 2. 6 市の施策や行政の対応等

本当に一生懸命、真面目に頑張ってる母子家庭の人達や、又寝たきり老人の介護をしている人達(無収入)たくさんいます。老人は過去には日本を全力でささえて来た人達です。年金も少なく、又無年金の人がたくさん居ます。

トイレの水ながし2回に1度とか、風呂に入るのを週1、2度とか食費もつめて、やっとその日を暮らしている人がたくさんいます。おそらく役所の人はそのような人をほんの少ししか知らないでしょう。いやあまり関心もない人が多いかも、もっと民生委員や地域包括の人達にまかせず所員も、もっと積極的に見回りして欲しい。真じめな人が死んで行く事のない政策に力を入れて下さい。もっと昔のように助け合いの機関も作って行って欲しい。
(男性、満80~84歳、厚別区)

同封の保健・福祉サービスの内容が重複している様に感じる、つまり小分けして市職員の割り当てを増やすのではなく生の声によるサービスの窓口を汲意する様要望する。

国は型から入る、つまり中央官庁は地方に下ろし指示する犬で内容は把握、チェックされていない。金の使い方をもっと有意義に使う様要望。

組織サービスを簡略化し高齢者、利用者に分かりやすい形態をとってもらいたい。

最期に国の施策で公共事業費は福祉に廻したれ流しを防ぎ高齢者に手厚い支援を。〈単年度会計は廃止し繰越す会計制度に変更を要望する〉

(男性、満65~69歳、豊平区)

保健・福祉サービスについて

1. 高齢者の日常生活自立を支援する為、(生活自立を必要とする高齢者について)、行政による有給の介護サポーターを増す。

2. 子どもの貧困をなくす為、子育て支援にもっと税金を使うべきだ

以上
(男性、満70~74歳、西区)

高齢者にお金を掛け過ぎる。もっと若い人、特に子供に資金を回すべきと考える。日本を支えていく将来の大人へお金をかけるべき。
(女性、満65~69歳、北区)

高齢者施策全体を1冊の冊子で提供して頂けるとサービスを受けるのに役立つので是非お願いしたい。
(男性、満70~74歳、清田区)

介護保険制度そのものや、札幌市の保健・福祉サービスの施策実態(各種事業の内容・運用手順等)について、私は何も知りません。毎年数多くの方が高齢者の仲間入りします。高齢者となった身として、札幌市の高齢者施策は非常に気になります。施策の事業内容や運用手順(受付・申込み~利用・場所、費用)等がわかる説明用小冊子準備・配布等の対策をお願いしたい。
(男性、満65~69歳、厚別区)

緊縮財政の中で大変でしょうが頑張って下さい。理想を言えば冬季対策(除雪)、自転車道の整備、買物バス、巡回店ポバス(タクシー)など自立支援のためのインフラの整備をお願いします。
(男性、満65~69歳、南区)

1) 札幌市は多雪地区であり、除雪体制の強化を望む。市道は除雪回数を(歩道を含む)増して欲しい。(団地での市道を含む)

2) 空家対策を強化されたい。当該団地(28戸構成)で2戸が空家あり町内会運営上に問題があります。

◎3) 耐震診断申込んであるが、多数申込で遅れるとの文書を頂いたが、どうなっているか大変不満である

(男性、満80~84歳、豊平区)

要望はあれど書いたからと言って聞いてくれる分けてなし年金生活でも夫は市民税をとられているけどこれは変です。250万なのに

(女性、満75~79歳、豊平区)

市、国の関連施設、市議員など削減し年寄りがこの国をつくり上げたのですから、今後は福祉施設サービス、保育所等を増大してほしい。

施設に24万位支払い、二重生活で困ってます

市長さん関係者の方々

(年寄り 子供(中学三年まで)} せめて無料となりませんか

日本の中でもこの様な地域が多くあるので老人、子供は早くこの世から消滅してほしいのですか?市長さん!

(男性、満75~79歳、西区)

保険福祉の各窓口が係毎で温度差があり過ぎる改めて欲しい(問切形、一方的、要望等の中断等々)親切に回答してくれる係員も居るがごくまれである。

(男性、満80~84歳、北区)

答えづらい説明が多く、誰にむけてのアンケートかわからない。何を参考にしたいのか、札幌市がどのようにしたいのかが見えてこない。

(女性、満90歳以上、東区)

保険福祉サービスが色々ある様だがどこにあるのやら電話番号が解らない公報にでも少し掲載して欲しい

昨年2月滑って転んで大腿骨骨折。二度手術をやり直し目下室内杖をついて歩くのがせいいっぱい、解答は直った時を考えて解答してある

(男性、満80~84歳、北区)

私達は共に69歳になる夫婦2人暮らしです。主人は50歳目前にして脳梗塞になり、今まで2度、3度と入院しており、最近歩くのが大変です。市の相談窓口には行きたいと思いますが、本人が拒否していますので、何とか家で見ています。ただ、病院への通院が大変で最近タクシーが多く大変です。市はさまざまな保健福祉サービスがあるようですが、その中に歩く指導等をしている所があると助かるのですが、たとえば子供達が学校に行って使っていない時間帯の児童会館とか、そういう場があればとても助かります。まったく歩けなくなる前に何とかしたいと思います。歩けなくなるという事は終りという事です。

(無回答、無回答、無回答)

4. 2. 7 年金について

昔と比べ、あまりにも年金額が少なく思います。(特に公務員)

昔の年金制度が腐敗していたとしても、真面目に働いていた人が何年か後に考えられないくらい少ない年金額! どうなのでしょう! すべて行政(政府)のせいですよ! 団塊世代はどうやってこれから生活していったらいいのでしょうか!

※特に介護保険料が高すぎ、今後は選択制にしたらいいと思います!

(男性、満 65~69 歳、南区)

私は 40 才で夫と別居、以後子供 2 人と生活してきました。47 才の時離婚して、夫とくらしした 20 年の年月も何も私に無い事がわかりました。40 才から働いて、私の年金年数が 18 年でした。2 年目は国民年金をかけて、合せて 20 年になると思ったら、国民年金の 2 年間は何も合算されなく、何のための苦しみながらかけたのか今でも考へます。今の人達は別れても、少し年金が妻の方にもらへる様になり、良かったと思います。

(女性、満 75~79 歳、白石区)

4. 2. 8 その他

本人は認知症のため担当マネージャーが本人にお話し伺い記入しました。ほとんどわからないでした。

(女性、満 75~79 歳、西区)

高齢社会に関する意識調査に対応し、今の自分を考える時が与えられ感謝でした。

(男性、満 80~84 歳、北区)

要望、意見は極力抑制する。(きりがないので) できることはすべて自分です。(エゴではなくフリーダムが大切) 他人に頼ることもあるかもしれないが、極力自分でものごとを考える。

保健や福祉サービスはあってもいいが、なるべく頼らない。サービスや制度はどうあるべきかわからないことも多いですが、それらの対象については、自分自身も勉強する。

(男性、満 65~69 歳、中央区)

物価が高いのに年金額が下がるのは、生活保護者が増えるのではないのでしょうか

(女性、満 70~74 歳、西区)

何せ生活費、健康等近い将来不安である。

(男性、満 75~79 歳、豊平区)

社会保障制度は人の善意に基づくもので、ある程度は仕方がないと思うが、基準の問題が執行者の問題か判らないが、制度を悪用している人のことを見聞きするのは嘆わしい。

超高令化に伴い限りある財政の中、先が不安であるが高令者自身も日常に気を配り、行政にあまり頼らない生活をしなければならない時代が来ると覚悟しています。

(男性、満 80~84 歳、東区)

常々考えていることは、生活保護の方の医療費は低所得者と同じに1割負担が良いと思います。病院は無料なので心配なく医療受けれるのは良しとしても収入は低所得者より多くの場合アリ。それとも月に何回とか規制するとかしないと生保の方は医療は恵まれすぎではないでしょうか。負担している方は支払も考えて病院行きます。収入は大した変わらない。生保の方も大変な方も多いでしょうがやっぱり負担なしではダメですヨネ、私自身なるべく介護保険のお世話にならない様生活してます。

(女性、満70～74歳、白石区)

現代より子供、孫の時代を心配しています。気象変化、外国貿易、外交など冬期オリンピックもいいのですがなるだけ新しい建造物を作らず将来の負の遺産にならない様にと 생각합니다。

(男性、満70～74歳、北区)

今のところ健康で真剣に福祉サービス等、考えたことが少ない。何か困ることが生じるとあわてて、走り廻り勉強するのでは？と思ってる。健康はありがたいことです。

(無回答、無回答、無回答)

どの様にこの意識調査が反映されるか解りませんが低い者の声を取り上げて欲しいと思います。いろいろな施設も作っていただいている事が解りました。仲々人々の集まる所にスムーズに入って行けない性格で行動範囲を狭くしています。介護から少しでも遠のく様に努力しているつもりです。独身子供に世話になり乍らの70代です。

(女性、満70～74歳、東区)

5 調 査 票

高齢社会に関する意識調査

札幌市

【ご記入にあたってのお願い】

1. このアンケートは **平成28年11月1日** 現在の状況でお答えください。
2. ご使用いただく筆記用具は、どのようなものでも構いません。
3. 回答は特段の指定がない限り、ご本人（封筒のあて名）についてお願いいたします。質問文の中の「**あなた**」とは、**封筒のあて名の方**を指しています。
4. ご本人がご記入できない場合は、ご本人の意思をご確認の上ご家族等が代わりに記入するなど、可能な範囲でご協力ください。
5. 質問によっては、ご回答いただく方が限られているものもありますので、**矢印（→）や、ことわり書き**に従ってご記入ください。
6. ご回答は、当てはまる番号に○をつけてください。「その他」に○をつけられた場合は、その内容をできるだけ具体的に（ ）内にご記入ください。
なお、回答方法にことわり書きがある質問は、ことわり書きに従ってご記入ください。
7. 答えにくい質問、答えたくない質問については、記入する必要はありません。答えられる範囲でお答えください。
8. ご記入がお済みになりましたら、調査票を同封の返信用封筒に入れて、**平成28年11月25日（金）まで**にご投函ください。
（切手は不要です。また、返信用封筒に差出人氏名を記入する必要はありません。）

【調査に関するお問い合わせについて】
札幌市 保健福祉局 高齢保健福祉部 介護保険課
TEL 011-211-2547

1 基本的事項について

問1-1 あなたの性別について、あてはまるものに○をつけてください。

1. 男性 2. 女性


問1-2 あなたの現在の年齢について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 満40～44歳 5. 満60～64歳 9. 満80～84歳
2. 満45～49歳 6. 満65～69歳 10. 満85～89歳
3. 満50～54歳 7. 満70～74歳 11. 満90歳以上
4. 満55～59歳 8. 満75～79歳

問1-3 あなたがお住まいの区について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 中央区 4. 白石区 7. 清田区 10. 手稲区
2. 北区 5. 厚別区 8. 南区 11. 札幌市以外
3. 東区 6. 豊平区 9. 西区

問1-4 あなたは現在、どこで生活をしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 自分または家族の持ち家（一戸建）
2. 自分または家族の持ち家（マンション）
3. 民間の借家（一戸建）
4. 民間の借家（マンション、アパート）
5. サービス付き高齢者向け住宅※1などの高齢者向け住宅
6. 道営・市営住宅、公団住宅
7. グループホーム
8. 軽費老人ホーム※2（ケアハウスなど）、有料老人ホーム、養護老人ホーム
9. その他（具体的に）
10. 特別養護老人ホームなどの施設※3に入所中  **問7-1** (23ページ) に進んでください

※1「サービス付き高齢者向け住宅」とは、安否確認や生活相談サービスなど、高齢者を支援するサービスを提供するバリアフリー構造の住宅です。

※2「軽費老人ホーム」とは、自立した日常生活を営むことに不安のある、家族の援助を受けることが困難な方が入所する施設です。ケアハウス、A型、B型の3種類があります。

※3「施設」には、老人保健施設や病院を含みます。

問 1-5 以降は、問 1-4 で「1.」～「9.」と回答した方のみお答えください。

問 1-5 あなたの就労状況についてお聞きします。

(1) 現在、収入のある仕事をしていきますか。あてはまるものに○をつけてください。

1. 仕事をしている 2. 仕事をしていない

(2) 「1. 仕事をしている」と回答した方に向かいます。雇用形態について、あてはまるものに○をつけてください。

1. 正社員・正職員 5. 自営業
 2. 契約社員・嘱託 6. 会社・団体の役員
 3. パート・アルバイト 7. その他
 4. 派遣社員 ()

2 世帯の状況・住まいについて

問 2-1 すべての方にお聞きします。あなたと同居している家族はいますか。あてはまるもの1つに○をつけ、同居者がいる場合は、 に人数もご記入ください。なお、二世帯住宅にお住まいの方も含めて教えてください。

1. いない (ひとり暮らし)
 2. あなたを含めて 人家族

(1) あなたと同居している方はどなたですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 配偶者 (夫または妻) 5. 親または配偶者の親
 2. 息子 6. 孫
 3. 娘 7. 兄弟・姉妹
 4. 子の配偶者 8. その他 ()

(2) 「1. いない (ひとり暮らし)」と回答した方に向かいます。

① ひとり暮らしになってからどのくらいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 1 年未満 4. 5～10 年未満 7. 30 年以上
 2. 1～3 年未満 5. 10～20 年未満
 3. 3～5 年未満 6. 20～30 年未満

② 近くに家族 (親、子、兄弟姉妹、孫のいずれか) は住んでいますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 近く (500m以内) に住んでいる
 2. 近く (500m以内) ではないが、市内に住んでいる
 3. 市外に住んでいる
 4. 家族はいない

問 2-2 すべての方にお聞きします。現在のお住まいにどの程度満足していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 満足している 3. どちらともいえない 5. 不満である
 2. まあ満足している 4. やや不満である 6. わからない

問2-3 あなたは、今後も現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. 住み続けたい | 3. どちらともいえない |
| 2. 住み続けたいとは思わない | 4. わからない |

問2-4 あなたは、札幌市には、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるための生活環境が整っていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|--------------|-----------|
| 1. そう思う | 3. どちらともいえない | 5. そう思わない |
| 2. まあそう思う | 4. あまりそう思わない | 6. わからない |

問2-5 今後の住まいに対する考え方についてうかがいます。

(1) あなたは、仮にひとり暮らしになったり、身体が弱くなったり、日常生活をおくる上で判断力が不十分になった場合、どこで生活したいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 現在の場所で生活を続けたい（自宅の場合、増築を含む） |
| 2. 住み替えにより在宅での生活を続けたい（サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなどを含む） |
| 3. 特別介護老人ホームやグループホームで暮らしたい |
| 4. わからない |

(2) 「2. 住み替えにより在宅での生活を続けたい」と回答した方にうかがいます。

① どのような形態の住まいを考えていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 一戸建（二世帯住宅を含む） |
| 2. マンション・アパートなど集合住宅 |
| 3. サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなどの高齢者向け住宅 |
| 4. 形態にはこだわらない |

② 住み替え先を選ぶにあたって重視するのはどのようなことですか。あてはまるもの3つ以内○をつけてください。

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 経済的負担が少ない | 8. 近所付き合いが少ない |
| 2. 交通の便が良い | 9. 高齢者に配慮した設備がある |
| 3. 近くに家族がいる | 10. 除雪の心配がない |
| 4. 通院や買い物に便利である | 11. 緊急時の連絡手段がある |
| 5. 食事の支度の心配がない | 12. その他 |
| 6. 見守ってくれる人がいて安心できる | （ |
| 7. 介護をしてくれる人がいる | 13. 特にない |

問2-6 すべての方にお聞きします。あなたは、最期をどこで迎えたいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|------------------------------------|
| 1. 自宅 | 5. サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなどの高齢者向け住宅 |
| 2. 介護老人福祉施設（特別介護老人ホーム） | 6. その他（具体的に |
| 3. グループホーム | 7. 考えたことはない |
| 4. 病院・診療所 | |

3 交流と活動について

問3-1 他の世代との交流についてお聞きします。

65歳以上の方は(1)をお答えください。
40歳～64歳の方は(2)をお答えください。

(1) 65歳以上の方にお聞きします。若者や子どもなど、若い世代の人たちと交流はありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 一緒に住むなどして日常生活をともにしている |
| 2. 家事、子育て、介護などを通じて子や孫などと交流している |
| 3. 趣味・スポーツや生涯学習などのグループで一緒に活動している |
| 4. ボランティア活動や町内会などの地域活動と一緒に取り組んでいる |
| 5. 職場で一緒に仕事をしている |
| 6. 近所の子どもの世話をしたり、子育てサロンで地域の子どもと交流している |
| 7. その他（具体的に |
| 8. 交流することはほとんどない |

(2) 40歳～64歳の方にお聞きします。65歳以上の人たちと交流はありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 一緒に住むなどして日常生活をともにしている |
| 2. 家事、子育て、介護などを通じて家族（祖父母）などと交流している |
| 3. 趣味・スポーツや生涯学習などのグループで一緒に活動している |
| 4. ボランティア活動や町内会などの地域活動と一緒に取り組んでいる |
| 5. 職場で一緒に仕事をしている |
| 6. 近所の高齢者に子どもを預かってもらったり、子育てサロンで地域の高齢者と交流している |
| 7. その他（具体的に |
| 8. 交流することはほとんどない |

問3-2 すべての方にお聞きします。あなたは、現在住んでいる地域の中で、ご近所の方にどのようなお手伝いをした経験がありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 代わりに買い物に行く | 10. 通院の付き添い |
| 2. 様子を見に行ったり声をかける | 11. 間口の除雪 |
| 3. 車で送り迎えをするなど外出の手助けをする | 12. ごみ出し |
| 4. 話し相手になる | 13. 子どもを預かる、子どもの世話をする |
| 5. 食事や惣菜などを持っていく | 14. 子育ての相談に乗る |
| 6. 食事を作る | 15. その他 (具体的に) |
| 7. 掃除 | 16. 特に何もしていない |
| 8. 洗濯 | |
| 9. 介護や看護 | |

問3-3 あなたは、日ごろ、会話や外出、趣味等をどなたと一緒に楽しんでいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 配偶者 (夫又は妻) | 7. 友人・知人 |
| 2. 子 (子の配偶者を含む) | 8. 仕事での同僚・元同僚 |
| 3. 兄弟姉妹 | 9. その他 (具体的に) |
| 4. 親 | 10. いない |
| 5. その他の親族 | |
| 6. 近所の人 | |

問3-4 あなたが日ごろ、悩み事の相談などをする身近な方はどなたですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|-----------------|-----------|--------------|
| 1. 配偶者 (夫又は妻) | 5. その他の親族 | 9. 町内会・町内会役員 |
| 2. 子 (子の配偶者を含む) | 6. 近所の人 | 10. その他 |
| 3. 兄弟姉妹 | 7. 友人・知人 | () |
| 4. 親 | 8. 民生委員 | 11. 特にいない |

問3-5 社会参加についてうかがいます。

(1) あなたは、次のような活動 (社会参加活動や仕事など) をしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|----------------------------|
| 1. 町内会活動 |
| 2. 老人クラブ活動 |
| 3. ボランティア活動 |
| 4. 地域のサークル・自主グループ |
| 5. 各種講習会への参加などの学習活動 |
| 6. パークゴルフやテニス、ダンスなどのスポーツ活動 |
| 7. 楽器や手芸、絵画などの文化活動 |
| 8. ハイキングや登山、釣りなどのレジャー |
| 9. ウォーキングや体操などの運動 |
| 10. 介護予防教室 |
| 11. 収入のある仕事 |
| 12. その他 (具体的に) |
| 13. 特にない |

(2) 札幌市では、高齢者が積極的に社会参加できる機会が十分にあると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. そう思う | 4. あまりそう思わない |
| 2. まあそう思う | 5. そう思わない |
| 3. どちらともいえない | 6. わからない |

4 心身の状況について

問4-1 あなたは、ご自身で健康だと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. 健康である | 4. 健康ではない |
| 2. おおむね健康である | 5. わからない |
| 3. あまり健康ではない | |

問4-2 現在、健康維持のために気をつけていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------------|--|
| 1. 休養や睡眠を十分にとっている | |
| 2. 毎日の食事に気をつけている | |
| 3. 市販の健康食品や栄養剤、ビタミン剤をとっている | |
| 4. 酒を控えている | |
| 5. タバコをやめている | |
| 6. 歯や口の中を清潔に保つように心がけている | |
| 7. 閉じこもりがちなにならないように外出している | |
| 8. 運動不足にならないように身体を動かしている | |
| 9. 身の回りのことは自分でしている | |
| 10. 気持ちを明るく保つように心がけている | |
| 11. 健康診断などを定期的に受けている | |
| 12. 健康のための研修会や講習会に参加している | |
| 13. 新聞・雑誌・テレビなどから健康に関する情報を集めている | |
| 14. その他（具体的に) | |
| 15. 特にない | |

問4-3 最近、ご自身の健康状態について気になっていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 1. 膝や腰に痛みがある | 8. ここ半年間で体重が2～3kg以上減った |
| 2. 足腰の筋力が落ちてきた | 9. 固いものが食べにくくなってきた |
| 3. 眠れない、眼が浅い | 10. お茶や汁物でむせる |
| 4. 疲れやすい | 11. 口が渇く |
| 5. 目が見えづらくなってきた | 12. その他 () |
| 6. 耳が遠くになってきた | |
| 7. 物忘れが増えた | 13. 特にない |

問4-4 通院の状況についてうかがいます。

(1) あなたは現在、通院していますか。通院回数について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|------------|------------------|-------------|
| 1. 通院していない | 問4-5に
進んでください | 7. 月に1回 |
| 2. ほぼ毎日 | | 8. 2か月に1回程度 |
| 3. 週に4～5回 | | 9. 3か月に1回程度 |
| 4. 週に2～3回 | | 10. 年に数回 |
| 5. 週に1回 | | 11. その他 () |
| 6. 月に2～3回 | | (具体的に) |

(2) 日ごろ、通院する際の主な移動手段は何ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|-------------|
| 1. 徒歩（つえ等を使用する場合を含む） | 5. 公共交通機関 |
| 2. 自転車 | 6. タクシー |
| 3. 自家用車（自分で運転） | 7. 介護タクシー |
| 4. 自家用車
(家族、知人などに乗せてもらう) | 8. 病院や施設のバス |
| | 9. その他 () |

(3) 日ごろ、通院に要する時間はおおむねどれくらいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 15分未満 | 3. 30分～1時間未満 |
| 2. 15分～30分未満 | 4. 1時間以上 |

問4-5 すべての方にお聞きします。かかりつけ医はありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問4-6 かかりつけ歯科医はありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問4-7 かかりつけ薬局はありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問 4-8 この1年間に転んだことがありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. はい 2. いいえ 3. 覚えていない

→ 「1. はい」と回答した方にかがいます。
 転んだ場所はどこですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------|-------------|
| 1. 自分の家の中 | 4. 冬期間以外の屋外 |
| 2. 自分の家以外の建物の中 | 5. その他 |
| 3. 冬期間の屋外 | (具体的に) |

問 4-9 現在、介護※を受けていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

※ ここの「介護」とは、介護保険のサービスを受けている場合のほか、介護保険の要介護(支援)認定を受けていない場合でも、常時ご家族などの援助を受けている状態を言います。

- | |
|--------------------------|
| 1. 介護は必要ない |
| 2. 何らかの介護は必要だが、現在は受けていない |
| 3. 介護を受けている |

問 4-10 介護保険の要介護(支援)認定は受けていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1. 要介護認定を受けていない | 6. 「要介護3」と認定 |
| 2. 「要支援1」と認定 | 7. 「要介護4」と認定 |
| 3. 「要支援2」と認定 | 8. 「要介護5」と認定 |
| 4. 「要介護1」と認定 | 9. 要介護認定を受け、「非該当(自立)」 |
| 5. 「要介護2」と認定 | 10. わからない |

問 4-11 もし介護が必要になったとき、在宅で暮らし続けるためには何が必要だと思いますか。現在介護を受けている方は、在宅で暮らし続けるためには何が必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|------------------------|
| 1. 住み続けられる住まいがある |
| 2. 家族が同居、または近くにいる |
| 3. 身近に利用できる医療機関がある |
| 4. 通ったり宿泊できる介護サービスがある |
| 5. 夜間に訪問してくれる介護サービスがある |
| 6. 見守ってくれる友人・知人が近くにいる |
| 7. 利用しやすい交通機関がある |
| 8. 身近に買い物できる場所がある |
| 9. 緊急時の連絡手段がある |
| 10. その他(具体的に) |
| 11. 特にない |

5 保健・福祉施策について

問5-1 札幌市などが行っている高齢者を主な対象とした次の保健・福祉サービスなどの中で、知っているものはありますか。知っているものすべてに○をつけてください。

※サービスの内容については、同封の別紙を参照してください。

- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| 1. 高齢者あんしんコール事業 | 19. ひとり暮らし高齢者等巡回相談事業 |
| 2. 高齢者等おむつサービス事業 | 20. 介護サポートポイント事業 |
| 3. 高齢者配食サービス事業 | 21. 老人クラブ活動費補助金 |
| 4. 高齢者美容サービス事業 | 22. 高齢者福祉バス |
| 5. 高齢者健康入浴推進事業 | 23. 敬老優待乗車証 |
| 6. 生活支援型ショートステイ | 24. 老人休養ホーム（保養センター-駒岡） |
| 7. 地域包括支援センター | 25. おとしより憩の家 |
| 8. 介護予防センター | 26. 札幌シニア大学 |
| 9. 二次予防事業 | 27. 老人福祉センター |
| 10. すこやか倶楽部などの一次予防事業 | 28. シニアサロンモデル事業・シニアチャレンジ事業 |
| 11. 保健師による訪問指導 | 29. シルバー人材センター |
| 12. 認知症サポーター養成講座 | 30. 福祉のまち推進センター |
| 13. 徘徊認知症高齢者SOSネットワーク | 31. 日常生活自立支援事業 |
| 14. 札幌市認知症コールセンター | 32. 福祉除雪 |
| 15. 認知症カフェ（札幌市認証） | 33. 健康教育・健康講座（教室） |
| 16. 認知症ナビ | 34. 健康相談 |
| 17. 男性介護者の交流会（ケア友の会） | 35. 高齢者インフルエンザ予防接種 |
| 18. 成年後見制度 | 36. 健診ととくとく健診・後期高齢者健診 |

問5-2 **問5-1**にある保健・福祉サービスの中で、特に重要だと考えるものほどれですか。5つ以内で選び、その番号を記入してください。

--	--	--	--	--	--

問5-3 高齢者の保健・福祉サービスに関する情報は、主にどこから入手していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------|---------------------|
| 1. 新聞・情報誌 | 10. ケアマネジャーやホームヘルパー |
| 2. テレビ | 11. 民生委員 |
| 3. ラジオ | 12. 福祉のまち推進センター |
| 4. インターネット（ホームページなど） | 13. 町内会・町内会役員 |
| 5. 市の広報（広報さっぽろなど） | 14. 家族・親戚・知人 |
| 6. 区役所・保健センター・まちづくりセンターなど市の窓口 | 15. 老人福祉センター |
| 7. 地域包括支援センター（具体的に） | 16. その他 |
| 8. 介護予防センター | 17. 特に入手していない |
| 9. 病院や診療所 | |

問5-4 札幌市では、高齢者が介護を必要とせずに元気で健康に暮らし続けるための取組が十分になされていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|--------------|
| 1. そう思う |
| 2. まあそう思う |
| 3. どちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない |
| 5. そう思わない |
| 6. わからない |

「4. あまりそう思わない」「5. そう思わない」と回答した方にうかがいます。取組が十分になされていないと思う理由は次のうちどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|--------------------------|
| 1. 地域の支え合いの仕組みづくりが不十分だから |
| 2. 社会参加の機会があまりないから |
| 3. 生涯学習やスポーツの機会が少ないから |
| 4. 困ったときの相談窓口が整備されていないから |
| 5. その他（ |
| 6. 特に理由はない |

問5-5 現在困っていることや、将来に向け不安に思うことはありますか。あてはまるすべてに○をつけてください。

	現在 困っていること	将来不安なこと
1. 健康面		
2. 生活費		
3. 仕事		
4. 住まい		
5. 食事の準備		
6. 掃除・洗濯		
7. 生きがいや楽しみがない		
8. 自分の介護		
9. 家族の介護		
10. 財産管理		
11. 交通事故		
12. 火の始末		
13. 詐欺（さぎ）等の犯罪被害		
14. 通院		
15. 日々の買い物		
16. 緊急時の連絡手段		
17. 家族関係		
18. 相談相手がいない		
19. 除雪		
20. 冬期間の外出・交通手段		
21. ごみ捨て		
22. 災害時の避難		
23. その他 (具体的に)		
24. 特になし		

問5-6 あなたは、困っていることや不安に思うことを、どこに相談していますか。あるいは、どこに相談しようと思いませんか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 区役所や保健センターなど札幌市の窓口
2. 地域包括支援センター
3. 介護予防センター
4. 健康づくりセンター
5. 病院や診療所
6. ケアマネジャーやホームヘルパー
7. 入居中の住宅の相談員など
8. 民生委員
9. 福祉のまち推進センター
10. 町内会・町内会役員
11. 家族・親戚・知人
12. 人権擁護委員
13. 老人福祉センター
14. その他（具体的に)
15. わからない
16. 特になし

問5-7 今の社会では、他の世代に比べて高齢者は優遇されていると思いませんか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. そう思う	4. あまりそう思わない
2. まあそう思う	5. そう思わない
3. どちらともいえない	6. わからない

問5-8 札幌市では、高齢者の人権が尊重され、権利が守られていると思いませんか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. そう思う	4. あまりそう思わない
2. まあそう思う	5. そう思わない
3. どちらともいえない	6. わからない

問5-9 「高齢者虐待」を見聞きしたことがありますか。また、見聞きしたことがある場合どのような状況で見聞きしましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. テレビ、新聞などの報道を通じて見聞きした
2. 親戚・知人・自分が受けた、受けている
3. 「高齢者虐待」と言える事例かどうかわからない
4. 「高齢者虐待」の意味がよくわからない
5. その他（具体的に)
6. 見聞きしたことはない

「2. 親戚・知人・自分が受けた、受けている」と回答した方に向かっていきます。実際に受けた、または受けている虐待はどのようなものですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. **身体的虐待**
= 高齢者の身体に外傷が生じ、または生じるおそれのある暴行を加えること。
例) 叩く、蹴る、つねる、物を投げつける、鍵をかけて閉じ込める など
2. **介護・世話の放棄・放任**
= 高齢者を衰弱させるような著しい減食、長時間の放置、養護者以外の同居人による虐待行為の放置など、養護を著しく怠ること。
例) 必要なサービスを受けさせない、おむつや衣類を交換しない など
3. **心理的虐待**
= 高齢者に対する著しい暴言または著しく拒絶的な対応その他の高齢者に著しい心理的外傷を与える言動を行うこと。
例) 無視する、怒鳴る、ののしる、トイレに行けるのにおむつをする など
4. **性的虐待**
= 高齢者にわいせつな行為をすることまたは高齢者をしてわいせつな行為をさせること。
例) 性的な行為を強要する、人前で裸にする など
5. **経済的虐待**
= 養護者または高齢者の親族が当該高齢者の財産を不当に処分することその他当該高齢者から不当に財産上の利益を得ること。
例) 年金を勝手に使う、搾取する、本人の生活にかかる費用を払わない など

問5-10 仮にあなたやご家族の方に認知症の心配がある場合、どこに相談しますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 家族または親族
2. 友人または知人
3. 民生委員
4. 病院や診療所
5. 地域包括支援センター・ ()
6. 区役所や保健センターなど市の窓口
7. 認知症コールセンター等の電話相談
8. 認知症カフェ
9. 認知症の人と家族の会
10. 町内会・町内会役員
11. その他 ()
12. 誰にも相談しない
13. わからない

問5-11 近年、孤立死[※]が大きな問題となっていますが、あなたは、孤立死について心配がありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

※ 孤立死とは、高齢社会の進展に伴いひとり暮らしの高齢者等が増え、誰にも看取られずに亡くなったり、亡くなった後何日間も放置された状態で発見されることを言います。

1. 心配である
2. 少し心配である
3. どちらともいえない
4. あまり心配していない
5. 心配していない
6. わからない

問5-12 あなたは、孤立死を減らすための方法として効果的だと思うことは何だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. ひとり暮らしの高齢者に対する福祉の制度をさらに充実させる
2. 民生委員や福祉のまち推進センターなどの制度を有効に活用する
3. 隣近所や町内会で「声かけ」や相談にのる
4. 親族や友人などからの連絡（安否確認など）
5. 高齢者の居場所づくりを進める
6. 地域における助け合いの意義などについての学習や教育をすすめる
7. 行政が相談窓口の整備や地域の見守り活動への支援などの対応を十分に行う
8. 高齢者自身が普段から親族や隣近所と関わりを持っておく
9. その他 ()
10. 何もできない
11. わからない

問5-13 老後を安心して過ごすために行政に充実を求めることは、どのようなことですか。 主なもの3つ以内に○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 就業・就労 | 11. 認知症予防・認知症高齢者対策 |
| 2. 除雪体制 | 12. 地域の助けあい活動 |
| 3. 生きがい対策 | 13. 地域で気軽に交流できる施設 |
| 4. 在宅福祉 | 14. 高齢者に配慮したまちづくり |
| 5. 施設福祉 | 15. 財産管理サービス |
| 6. 住宅施策 | 16. 虐待への対応 |
| 7. 年金 | 17. 相談窓口 |
| 8. 介護保険制度 | 18. 保健・福祉関係の情報提供 |
| 9. 健康診断や生活習慣病検診 | 19. その他 () |
| 10. 診察、看護、機能訓練などの訪問体制 | 20. 特にない |

40～64歳の方は、25ページの問7-4へお進みください。
65歳以上の方は、20ページ（次のページ）の問6-1へお進みください。

6 日常生活について

問6-1 外出（通院を除く）についてうかがいます。

(1) あなたは、どのくらいの頻度で外出をしていますか。 あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------|------------------------------------|
| 1. ほぼ毎日 | 5. 週に1日 |
| 2. 週に4～5日 | 6. 2週に1日 |
| 3. 週に3日 | 7. 月に1回 |
| 4. 週に2日 | 8. ほとんど外出しない → <u>問6-2に進んでください</u> |

(2) 外出をしている方にうかがいます。外出する際の移動手段は何ですか。 あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|-------------------|
| 1. 徒歩 | 5. JR（鉄道） |
| (つえ等を使用する場合を含む) | 6. 市電・地下鉄・路線バス |
| 2. 自転車 | 7. タクシー |
| 3. 自家用車（自分で運転） | 8. その他
(具体的に) |
| 4. 自家用車
(家族、知人などに乗せてもらう) | |

問6-2 あなたは日中、ひとりで過ごすことが、1週間に何日くらいありますか。 あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------------------|-----------|-----------|
| 1. ない | 3. 週に1～2日 | 5. 週に6～7日 |
| 2. ほとんどない（月に数日程度） | 4. 週に3～5日 | |

問6-3 主に食事の用意をする人はどなたですか。 あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|---------|------------|-------------------|
| 1. 自分自身 | 4. 近所の人 | 7. 配食サービスを利用 |
| 2. 同居家族 | 5. 友人・知人 | 8. その他
(具体的に) |
| 3. 別居家族 | 6. ホームヘルパー | |

問6-4 主に洗濯や掃除をする人はどなたですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|---------|------------|--------|
| 1. 自分自身 | 4. 近所の人 | 7. その他 |
| 2. 同居家族 | 5. 友人・知人 | (具体的に) |
| 3. 別居家族 | 6. ホームヘルパー | |

問6-5 主に日常の買い物をを行うのはどなたですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 自分自身で店舗へ行く |
| 2. 自分自身でネットスーパーや通信販売等、宅配サービスを利用して買う |
| 3. 同居家族 |
| 4. 別居家族 |
| 5. 近所の人 |
| 6. 友人・知人 |
| 7. ホームヘルパー |
| 8. その他 (具体的に) |

問6-6 あなたが体調を崩したときに、身体の不調をどなたに相談しますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|-----------------|--------------|-------------|
| 1. 配偶者 (夫又は妻) | 6. 近所の人 | 11. ケアマネジャー |
| 2. 子 (子の配偶者を含む) | 7. 友人・知人 | 12. ホームヘルパー |
| 3. 兄弟姉妹 | 8. 民生委員 | 13. その他 |
| 4. 親 | 9. 町内会・町内会役員 | () |
| 5. その他の親族 | 10. かかりつけ医 | 14. 特にない |

問6-7 あなたが体調を崩したときに、病院への付き添いをお願いする人はどなたですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|-----------------|-----------|--------------|
| 1. 配偶者 (夫又は妻) | 5. その他の親族 | 9. 町内会・町内会役員 |
| 2. 子 (子の配偶者を含む) | 6. 近所の人 | 10. その他 |
| 3. 兄弟姉妹 | 7. 友人・知人 | () |
| 4. 親 | 8. 民生委員 | 11. 特にない |

問6-8 あなたが体調を崩したときに、買い物をお願いする人はどなたですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|-----------------|-----------|--------------|
| 1. 配偶者 (夫又は妻) | 5. その他の親族 | 9. 町内会・町内会役員 |
| 2. 子 (子の配偶者を含む) | 6. 近所の人 | 10. その他 |
| 3. 兄弟姉妹 | 7. 友人・知人 | () |
| 4. 親 | 8. 民生委員 | 11. 特にない |

問6-9 将来、自分で預貯金の出し入れができなくなった場合、頼める人はいますか。あてはまるものに○をつけてください。

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問6-10 「介護予防」とは、要介護状態にならないように取り組むこと、または、要介護状態であってもその悪化を防ぐよう取り組むことをいいます。あなたが、介護予防のために利用しているものについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|----------------------------------|
| 1. 介護予防の知識全般を学べる教室 |
| 2. 運動機能向上のための教室 (膝痛・腰痛対策、転倒防止対策) |
| 3. 食生活 (栄養等) の改善のための教室 |
| 4. 歯や口の機能の維持向上を図るための教室 |
| 5. 認知症予防のための教室 |
| 6. 老齢期のうつ予防の必要性や対処法を理解するための教室 |
| 7. 閉じこもり予防のための仲間づくり |
| 8. 健康・介護の悩みや心配事を相談する場 |
| 9. その他 (具体的に) |
| 10. 特にない |

問6-11 あなたは、認知症予防のために取り組んでいることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------|----------|
| 1. 運動を心がける | 5. 趣味を持つ |
| 2. 口腔の手入れ | 6. その他 |
| 3. 栄養のバランスに気をつける | (具体的に) |
| 4. 人との交流 | 7. 特にない |

7 介護保険について

問7-1 介護保険料の段階は何段階ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

本年6月以降に被保険者の皆様あてにお送りした、「平成28年度介護保険料納入通知書（または介護保険料特別徴収決定通知書）」の2枚目に介護保険料の段階が記載されています（下表参照）。

あてはまる番号に○をつけてください

	対 象	保 険 料 (年額)
1	生活保護を受給している方、中国残留邦人等の方々のための支給給付を受けている方、老齢福祉年金受給者で、世帯全員が市町村民税非課税の方 世帯全員が市町村民税非課税で、本人の前年の公的年金収入金額と合計所得金額の合計が80万円以下の方	27,956円
2	世帯全員が市町村民税非課税で、本人の前年の公的年金収入金額と合計所得金額の合計が80万円を超え120万円以下の方	40,380円
3	世帯全員が市町村民税非課税で、本人の前年の公的年金収入金額と合計所得金額の合計が120万円を超える方	46,593円
4	世帯の中に市町村民税課税者がいて、本人が市町村民税非課税で、本人の前年の公的年金収入金額と合計所得金額の合計が80万円以下の方	55,911円
5	世帯の中に市町村民税課税者がいて、本人が市町村民税非課税で、本人の前年の公的年金収入金額と合計所得金額の合計が80万円を超える方	62,123円
6	本人が市町村民税課税で、前年の合計所得金額が125万円未満の方	71,442円
7	本人が市町村民税課税で、前年の合計所得金額が125万円以上200万円未満の方	77,654円
8	本人が市町村民税課税で、前年の合計所得金額が200万円以上350万円未満の方	93,185円
9	本人が市町村民税課税で、前年の合計所得金額が350万円以上500万円未満の方	108,716円
10	本人が市町村民税課税で、前年の合計所得金額が500万円以上の方	124,246円
11	わからない	

問7-2 あなたは、現在支払っている介護保険料について、どう思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 特に負担とは思わない
2. これくらいの負担はやむをえないと思う
3. 負担ではあるが、なんとかやりくりしている
4. 現在の負担は苦しく、やりくりがむずかしい
5. その他 ()
6. わからない

問7-3 あなたは、今後の介護保険料の負担はどうあるべきだと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

※介護保険料は、所得に応じた金額設定となっています。(23ページ参照)

1. 所得の高い人と低い人とは、現状ぐらいのバランスで負担し合う
2. 所得の高い人の負担を増やし、所得の低い人の負担を減らす(累進性を強める)
3. 所得の高い人の負担を減らし、所得の低い人の負担を増やす(累進性を弱める)
4. その他 (具体的な)
5. わからない

ここからは全ての方がお答えください。

問7-4 介護保険では、介護サービスを充実させることで、介護保険料が上がりますが、介護サービスと保険料の関係について、あなたはどのように考えますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 介護保険料は今より高くなって良いので、介護サービスを積極的に増やすべきである
2. 介護保険料は現状程度とし、介護サービスの量も現状程度を維持すべきである
3. 介護保険料を安くするため、介護サービスの量を減らしても構わない
4. その他（具体的に)
5. わからない

8 経済生活について

問8-1 あなたの現在の暮らしは、経済的にゆとりはありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 大変ゆとりがある
2. ややゆとりがある
3. 普通
4. やや苦しい
5. 大変苦しい

問8-2 生活費に充てている収入などは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 働いて得た収入
2. 国民年金
3. 厚生年金（旧共済年金を含む）
4. 老齢福祉年金、恩給
5. 私的年金、保険金収入
6. 利子・配当金などの収入
7. 家賃・地代などの収入
8. 貯蓄の切りくずし
9. 子などからの援助・仕送り
10. 生活保護
11. その他（具体的に)
12. わからない

問8-3 収入についてうかがいます。

(1) あなたの個人の平成27年1年間の収入（税込み）はいくらですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 50万円未満
2. 50～100万円未満
3. 100～200万円未満
4. 200～300万円未満
5. 300～400万円未満
6. 400～500万円未満
7. 500～600万円未満
8. 600～700万円未満
9. 700～1,000万円未満
10. 1,000万円以上
11. わからない

(2) あなたの世帯全体の平成27年1年間の収入（税込み）はいくらですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 50万円未満
2. 50～100万円未満
3. 100～200万円未満
4. 200～300万円未満
5. 300～400万円未満
6. 400～500万円未満
7. 500～600万円未満
8. 600～700万円未満
9. 700～1,000万円未満
10. 1,000万円以上
11. わからない

問8-4 あなたの世帯全体の1ヵ月あたりの生活費（家賃や食費、日用品費など、1ヵ月生活するために必要なお金）はどのくらいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 5万円未満
2. 5～10万円未満
3. 10～15万円未満
4. 15～20万円未満
5. 20～25万円未満
6. 25～30万円未満
7. 30～35万円未満
8. 35～40万円未満
9. 40～50万円未満
10. 50万円以上
11. わからない

問8-5 あなたの世帯全体の貯蓄の合計額はおよそいくらですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 100万円未満
2. 100万円以上200万円未満
3. 200万円以上300万円未満
4. 300万円以上400万円未満
5. 400万円以上500万円未満
6. 500万円以上700万円未満
7. 700万円以上1,000万円未満
8. 1,000万円以上1,500万円未満
9. 1,500万円以上2,000万円未満
10. 2,000万円以上3,000万円未満
11. 3,000万円以上
12. わからない

9 自由記載

問9 札幌市のこれからの保健・福祉サービスや介護保険制度などの高齢者施策全般についてご要望、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました

調査票は同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに

11月25日（金）までに投函してください

高齢社会に関する意識調査
報告書

市政等資料番号

01-F03-17-587

平成 29 年（2017 年）3 月発行

発行：札幌市

編集：札幌市保健福祉局高齢保健福祉部介護保険課

〒060-8611 札幌市中央区北 1 条西 2 丁目

Tel (011) 211 - 2547 Fax (011) 218 - 5117

E-mail : kaigo@city.sapporo.jp